

昭和42年11月14日 第四種郵便物認可
平成14年11月20日発行(毎月1回 20日発行)
物 性 研 究 第79卷 第2号

ISSN 0525-2997

vol.79 no.2

物性研究

2002 / 11

1. 本誌は、物性の研究を共同で促進するため、研究者がその研究・意見を自由に発表し討論しあい、また、研究に関連した情報を交換しあうことを目的として、毎月1回編集・刊行されます。掲載内容は、研究論文、研究会・国際会議などの報告、講義ノート、研究に関連した諸問題についての意見などです。
2. 本誌に投稿された論文については、原則として審査は行いません。但し、編集委員会で本誌への掲載が不相当と判断された場合には、改訂を求めること、または掲載をお断りすることがあります。
3. 「物性研究」に掲載される論文の著作権は、物性研究刊行会に帰属することとします。但し、著者が著作物を使用することをさまたげるものではありません。
4. 本誌の論文を欧文の論文中で引用する時には、Bussei Kenkyu (Kyoto) **76** (2001), 1. のように引用して下さい。

[原稿作成要領]

1. 原稿は、原則として日本語に限ります。
2. 投稿原稿は2部提出して下さい。但し、研究会報告は1部で結構です。
3. 別刷を希望の場合は、投稿の際に、50部以上10部単位で、注文部数・別刷送付先・請求先を明記の上、お申し込み下さい。別刷代金については、刊行会までお問い合わせ下さい。
4. ワープロ原稿を歓迎します。原則として写真製版でそのまま印刷されますので、以下の点に注意して原稿を作成して下さい。
 - 1) 用紙はA4を縦に使用。(印刷はB5になります。縮小率86%)
 - 2) マージンは、上下各約3cm、左右各約2.5cm。1ページに本文34行、1行に全角文字で42字程度にして下さい。
 - 3) 第1ページは、タイトルはセンタリング、所属・氏名は右寄せにして、本文との間に受理日を入れるので、余白を少しあけて下さい。
 - 4) 図や表は本文中の該当箇所に貼り込み、図の下にキャプションを付けて下さい。
 - 5) 体裁については、上記は一応の目安ですので、多少の違いがあってもかまいません。
5. 研究会報告の作成要領については、物性研究ホームページをご覧くださいか、刊行会までお問い合わせ下さい。

〒606-8502 京都市左京区北白川追分町
京都大学 湯川記念館内
物性研究刊行会

Tel. (075)722-3540, 753-7051

Fax. (075)722-6339

E-mail busseied@yukawa.kyoto-u.ac.jp

URL <http://www2.yukawa.kyoto-u.ac.jp/~busseied/>

編集後記

あの茹だるような暑さもいつの間にやら忘却の彼方へと消え去り、静かな涼風に虫の唄声が運ばれてくる季節もはや過ぎ去らんとしております。今年の夏の天候がことのほか菜園の茄子どもには快適であったらしく、大食漢ぞろいの我が家の消費も追いつかぬ勢いで次々と実り続け、夏バテもせずに晩秋までゆさゆさと実を下げるその律儀さには目を見張る思いでありました。しかしながらその豊かさの中でなんとなく悲しくなる事実もありました。例年であれば夏バテした樹を切り倒してひと休みさせたあとに自力で復活し、夏場の新鮮な味わいとはまた違う濃厚な個性を楽しませてくれるあの秋茄子は、このような自然のリズムをくずされた成育過程からは出てこなかったのです。食卓に山と積まれたあたかも希釈されたような中身の茄子に、夏休みを強制しきれなかった我が身の愚かさが悔やまれるばかりです。

量の拡大に伴う質の低下が氾濫している時代となりました。巷に溢れる模造品、便利に使い捨てされる安かろう悪かろう商品に押され苦しむ真面目な商売人達は金融行政の過ちの責任をいわれもなく押し付けられひとつまたひとつと消えていきます。市内中心部の由緒正しき商店街に久しぶりに出かけたら、そのあちこちに廃業し借金のかたにとられたらしき店舗が見られ、その一部は観光客相手の怪し気な土産物屋など以前には見られなかった業種へと転換しておりました。近隣の古い町並みも雨後の竹の子のようにあちこちで建設されるおおよそ似つかわしくもないマンションに乱され、見るも無惨な印象を受けました。長期的な視野も持たず目先の快樂に浸ってきたツケというものでしょうか。永年かけて培ってきたものも瞬く間に崩壊することの事例ではないでしょうか。

青天の霹靂に戸惑ってしまった普通のおじさん技術者田中耕一さんは朝日新聞のインタビューに答えてこのように語っております。「最近、日本では大学でも企業でも、買って来た装置のボタンを押して結果を出すだけになっているのは残念やなど。80年代には大学の先生が装置を開発し、企業が製品化していました。欧米では一緒に装置を開発するという気運がまだたくさんある。私自身の経験では、装置を作らなければ本当に新しい発見は生まれにくい。」我々の業界でも論文数、インパクトファクター、サイテーションなど簡単に計量できるということ以外に何の意味もなく「量」の評価にしかならない数値的指標を、研究という本来「質」を持って評価すべき対象の評価に用いるという詭弁行為が横行しております。適応性の優れた方々はまさに田中さんの言葉の如く「買ってボタンを押し続け洪水の如く投稿する」道に邁進しておられるように感じるのはへそ曲がりの拙者だけではないことを期待します。「量」の拡大の先には我が家の秋茄子のようになにかしら肝心の部分にかけたみじめな研究者もどきが溢れる社会が待ち受けていることでしょう。

(一言居士)

[物性研究]

編集長

早川 尚男 (京大・人環)

編集委員

池田 浩章 (京大・理・物理)
北村 光 (京大・理・物理)
中尾 裕也 (京大・理・物理)
藤本 聡 (京大・理・物理)
加藤 将樹 (京大・理・化学)
佐々木 豊 (京大・低温センター)
常次 宏一 (京大・基研)
大木谷 耕司 (京大・数研)

各地編集委員

飯間 信 (北大・電子研)
早川 美德 (東北大・理・物理)
藤本 仰一 (東大・教養・基礎科第一)
堀田 貴嗣 (原研・先端研)
出口 哲生 (お茶の水大・理・物理)
永井 寛之 (信州大・理・物理)
岡本 祐幸 (分子科学研)
倭 剛久 (名大・理・物理)
池田 研介 (立命館大・理工・物理)
関本 謙 (京大・基研／在フランス)
森成 隆夫 (京大・基研／在アメリカ)
菊池 誠 (阪大・理・物理)
水口 毅 (大阪府大・工・数理工学)
市岡 優典 (岡大・理・物理)
吉森 明 (九大・理・物理)

E-mail: busseied@yukawa.kyoto-u.ac.jp

URL: <http://www2.yukawa.kyoto-u.ac.jp/~busseied/>

物 性 研 究 第 79 卷 第 2 号 (平成 14 年 11 月号) 2002年11月20日発行

| | | | |
|-----|------------------|-----------|---------------------------------------|
| 発行人 | 関 本 謙 | 〒606-8502 | 京都市左京区北白川追分町 京都大学湯川記念館内 |
| 印刷所 | 昭和企業組合 昭和堂印刷所 | 〒606-8225 | 京都市百万遍交差点上ル東側 TEL (075) 721-4541~3 |
| 発行所 | 物性研究刊行会 | 〒606-8502 | 京都市左京区北白川追分町 京都大学湯川記念館内 |

年額 19,200円

[物性研究]

編集長

早川 尚男 (京大・人環)

編集委員

池田 浩章 (京大・理・物理)
北村 光 (京大・理・物理)
中尾 裕也 (京大・理・物理)
藤本 聡 (京大・理・物理)
加藤 将樹 (京大・理・化学)
佐々木 豊 (京大・低温センター)
常次 宏一 (京大・基研)
大木谷 耕司 (京大・数研)

各地編集委員

飯間 信 (北大・電子研)
早川 美德 (東北大・理・物理)
藤本 仰一 (東大・教養・基礎科第一)
堀田 貴嗣 (原研・先端研)
出口 哲生 (お茶の水大・理・物理)
永井 寛之 (信州大・理・物理)
岡本 祐幸 (分子科学研)
倭 剛久 (名大・理・物理)
池田 研介 (立命館大・理工・物理)
関本 謙 (京大・基研／在フランス)
森成 隆夫 (京大・基研／在アメリカ)
菊池 誠 (阪大・理・物理)
水口 毅 (大阪府大・工・数理工学)
市岡 優典 (岡大・理・物理)
吉森 明 (九大・理・物理)

E-mail: busseied@yukawa.kyoto-u.ac.jp

URL: <http://www2.yukawa.kyoto-u.ac.jp/~busseied/>

物 性 研 究 第 79 卷 第 2 号 (平成 14 年 11 月号) 2002年11月20日発行

発行人 関 本 謙 〒606-8502 京都市左京区北白川追分町
京都大学湯川記念館内

印刷所 昭和企業組合 〒606-8225 京都市百万遍交差点上ル東側
昭和堂印刷所 TEL(075)721-4541~3

発行所 物性研究刊行会 〒606-8502 京都市左京区北白川追分町
京都大学湯川記念館内

年額 19,200円

会員規定

個人会員

1. 会 費：

当会の会費は前納制になっています。したがって、3月末までに次年度分の会費をお振込み下さい。

年会費 9,600円

1st Volume (4月号～9月号)

2nd Volume (10月号～3月号)

振替用紙は毎年2月号にとじ込んであります。振替用紙が必要な場合は、下記までご請求下さい。郵便局の用紙でも結構です。通信欄に送金内容を必ず明記して下さい。

郵便振替口座 京都 01010-6-5312

2. 送本中止の場合：

送本の中止は年度の切れ目しかできません。次の年度より送本中止を希望される場合、できるだけ早めにご連絡下さい。中止の連絡のない限り、送本は自動的に継続されますのでご注意下さい。

3. 送本先変更の場合：

住所、勤務先の変更などにより、送本先が変わる場合は、すぐにご連絡下さい。

4. 会費滞納の場合：

正当な理由なく1年以上の会費を滞納された場合は、送本を停止することがありますので、ご注意下さい。

機関会員

1. 会 費：

学校、研究所等の入会、及び個人でも公費払いのときは機関会員とみなし、**年会費 19,200円**です。学校、研究所の会費の支払いは、後払いでも結構です。申し込み時に、支払いに書類(請求、見積、納品書)が各何通必要かをお知らせ下さい。当会の請求書類で支払いができない場合は、貴校、貴研究所の請求書類をご送付下さい。

2. 送本中止の場合：

送本の中止は年度の切れ目しかできません。次の年度より送本中止を希望される場合、できるだけ早めにご連絡下さい。中止の連絡のない限り、送本は自動的に継続されますのでご注意下さい。

雑誌未着の場合：発行日より6ヶ月以内に下記までご連絡下さい。

物性研究刊行会

〒606-8502 京都市左京区北白川追分町 京都大学湯川記念館内

電話 (075)722-3540, 753-7051

FAX (075)722-6339

E-mail busseied@yukawa.kyoto-u.ac.jp

物 性 研 究 79-2 (11月号) 目 次

○講義ノート

「流体若手夏の学校 2001」 127

「自己相似ゆらぎの超普遍性」 藤坂 博一 128

○バクテリア鞭毛モーターのモデル 三井 利夫 154

○研究会報告

「ソフトマターの物理学」 176

○修士論文 (2001年度)

電磁誘起媒質透明化によるコヒーレント光の凍結と再生における
緩和の研究 東松修太郎 301

○編集後記 324

物 性 研 究 79-2 (11月号) 目 次

○講義ノート

「流体若手夏の学校 2001」 127

「自己相似ゆらぎの超普遍性」 藤坂 博一 128

○バクテリア鞭毛モーターのモデル 三井 利夫 154

○研究会報告

「ソフトマターの物理学」 176

○修士論文 (2001年度)

電磁誘起媒質透明化によるコヒーレント光の凍結と再生における
緩和の研究 東松修太郎 301

○編集後記 324